

平成21年度

教育委員会の点検・評価
報告書

平成22年8月

あま市教育委員会

《甚目寺地区》

－ 目 次 －

1. はじめに
2. 教育委員会会議の開催状況
3. 教育委員会会議の審議状況
4. 教育委員の活動状況
5. 主な事業の取組状況
 - (1) 学校教育課
 - 基礎学力の充実（教職補助員配置事業）
 - 英語教育の推進（外国人英語補助員配置事業）
 - 適応指導教室事業
 - 人権教育（人権教育研究会）
 - 小中学校施設整備事業
 - 学校教育事業
 - 学校給食事業

(2) 生涯学習課

- 文化振興事業
- 成人式事業
- 家庭教育推進事業
- 青少年健全育成事業
- 人権教育推進事業
- 文化財保護啓発事業
- 放課後子ども教室事業
- 公民館事業
- 人権教育推進のための調査研究事業
- スポーツ教室
- スポーツ行事・大会
- 社会教育施設設備事業

6. 学識経験者による意見

1. はじめに

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部を改正する法律が、平成20年4月1日に施行され全ての教育委員会は、毎年その権限に属する事務の管理及び執行の状況について、点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しなければならないこととなりました。

また、点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図ることとされました。

あま市教育委員会では、七宝・美和・甚目寺の地区ごとに、効果的・効率的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たすため、「教育委員会点検・評価」を実施し、報告書にまとめました。

2. 教育委員会会議の開催状況

平成21年度は毎月の定例会議12回を開催いたしました。また、各学期始め(4月・9月・1月)及び3月の教育委員会では、小中学校長との意見交換から、学校の様子、取組内容及び課題などの報告を受けました。

(1) 甚目寺町教育委員会委員 (平成22年3月1日現在)

職 名	氏 名	任 期
委員長	いしかわ あきら 石川 章	平成15年6月25日から平成19年6月24日 平成19年6月25日から平成23年6月24日
委員長職務代理者	やまだ けんたろう 山田 健太郎	平成16年7月 5日から平成20年7月 4日 平成20年7月 5日から平成24年7月 4日
委 員	やまなか いさみ 山中 勇	平成13年7月 1日から平成17年6月30日 平成17年7月 1日から平成21年6月30日 平成21年7月 1日から平成25年6月30日
委 員	おがさわら えいし 小笠原 英司	平成15年10月1日から平成19年9月30日 平成19年10月1日から平成23年9月30日
教育長	はせがわ たかし 長谷川 隆	平成17年9月 1日から平成21年8月31日 平成21年9月 1日から平成25年8月31日

(2) 教育委員会会議等

開 催 日	開 始 時 間	
平成21年 4月17日	午後 3時00分	教育委員会第 1回定例会
5月13日	午後 2時00分	教育委員会第 2回定例会
6月12日	午後 2時00分	教育委員会第 3回定例会
7月15日	午後 2時00分	教育委員会第 4回定例会
8月26日	午後 2時00分	教育委員会第 5回定例会

9月 9日	午後 2時00分	教育委員会第 6回定例会
10月19日	午後 2時00分	教育委員会第 7回定例会
11月11日	午後 2時00分	教育委員会第 8回定例会
12月17日	午後 4時00分	教育委員会第 9回定例会
平成22年 1月13日	午後 3時00分	教育委員会第10回定例会
2月18日	午後 2時00分	教育委員会第11回定例会
3月15日	午後 3時30分	教育委員会第12回定例会

3. 教育委員会会議の審議状況

年間12回の定例会では「就学援助費の受給審査」、「区域外就学、指定校変更」、「教科用図書の採択」、「平成22年度全国学力・学習状況調査への参加」などについての議案が協議され、活発な議論がなされました。

さらに、後援依頼が発議され審査基準等に従い十分検討し、28件の後援が決定されました。

4. 教育委員の活動状況

教育委員会(前掲)、学校訪問、主な行事等への教育委員の出席状況については下記のとおりです。

また、小中学校の行事などに積極的に参加し、実態の把握に努めました。

開催月	開催日	事業名	場所	出席委員
4月	1日	教職員辞令伝達式	役場大会議室	教育委員(全員)
	6日	小学校入学式	各小学校	教育委員(全員)
	7日	中学校入学式	各中学校	教育委員(全員)
	8日	校長・教頭会	南小学校	教育長
	8日	5月分献立委員会	給食センター	教育長
	10日	定例体育指導委員会	総合体育館	教育長
	13日	海部地方教育事務協議会	あま教育事務所	教育長
	16日	物資選定委員会	給食センター	教育長
	23日	初任者研修	役場会議室	教育長
	22日	人権教育研究委員会	中央公民館	教育長
	25日	国際交流協会総会	中央公民館	委員長・教育長
	28日	校長・教頭会	南小学校	教育長
	30日	6月分献立委員会	給食センター	教育長

開催月	開催日	事業名	場所	出席委員
5月	7日	教職員総会	中央公民館	教育長
	8日	体育協会総会	総合体育館	教育長
	12日	防犯協会理事会	中央公民館	委員長
	12日	青少年健全育成推進連絡協議会	中央公民館	委員長・教育長
	12日	交通安全推進協議会	中央公民館	教育長
	14日	優良児童生徒表彰式	甚目寺町役場	教育長
	14日	県町村教育長協議会総会	三の丸会館	教育長
	14日	町PTA連絡協議会総会	中央公民館	委員長・教育長
	18日	学校訪問	西小学校	全委員
	20日	物資選定委員会	給食センター	教育長
	22日	社会福祉協議会役員会	総合福祉会館	教育長
	22日	社会福祉協議会評議員会	総合福祉会館	委員長・教育長
	22日	新任・転任教職員研修	人権ふれあいセンター	教育長
	26日	社会教育審議会	中央公民館	教育長
	28日	防犯協会総会	中央公民館	全委員
	28日	交通安全・防犯・青少年健全育成町民決起大会	中央公民館	全委員
	29日	校長会・教頭会	東小学校	教育長
	29日	老人福祉センター運営委員会	老人福祉センター	教育長
	29日	人権ふれあいセンター運営審議会	人権ふれあいセンター	教育長
	29日	体育指導委員・スポーツ推進員合同会議	総合体育館	教育長
30日	運動会	南小学校・東小学校	委員・教育長	
6月	2日	7月分献立委員会	給食センター	教育長
	3日	文化協会総会	中央公民館	委員長
	5日	県人権教育研究会	産業貿易会館	教育長
	9日	租税教育推進協議会	海部事務所	教育長
	15日	学校訪問	東小学校	教育委員(全員)
	17日	物資選定委員会	給食センター	教育長
	19日	家庭教育推進運営協議会	海部教育事務所	教育長
	22日	学校訪問	南中学校	教育委員(全員)
	25日	甚目寺町防災会議	甚目寺町役場	教育長
	26日	海部地方教育事務協議会	海部教育事務所	委員長・教育長
	26日	定例体育指導委員会	総合体育館	教育長
	27日	虐待防止ネットワーク協議会	総合福祉会館	教育長

開催月	開催日	事業名	場所	出席委員
6月	30日	校長・教頭会	西小学校	教育長
7月	1日	8月分献立委員会	給食センター	教育長
	2日	給食センター運営委員会	甚目寺中学校	委員長・教育長
	6日	ハンセン病に関する講演会	人権ふれあいセンター	教育委員(全員)
	8日	教科用図書採択協議会	津島市	教育長
	8日	海部地方教育事務協議会	海部教育事務所	委員長・教育長
	10日	愛知県市町村教育委員会連合会総会	津島市文化会館	教育委員(全員)
	10日	定例体育指導委員会	総合体育館	教育長
	16日	物資選定委員会	給食センター	教育長
	21日	東部四町教育委員連絡協議会	中央公民館	教育委員(全員)
	25日	地域スポーツ推進員会	総合体育館	教育長
	29日	9月分献立委員会	給食センター	教育長
	30日	イスラエル学生表敬訪問	甚目寺町役場	教育長
	8月	1日	平和祈念式典	中央公民館
5日		物資選定委員会	給食センター	教育長
7日		海部地区人権教育講演会	中央公民館	教育委員(全員)
16日		青少年健全育成街頭啓発	甚目寺中学校	委員長・教育長
21日		体育指導委員・地域スポーツ推進員合同会議	総合体育館	教育長
30日		町総合防災訓練	甚目寺中学校	教育委員(全員)
9月	3日	10月分献立委員会	給食センター	教育長
	4日	校長・教頭会	甚目寺中学校	教育長
	6日	障害児・者バスハイク	鳥羽市	教育長
	11日	敬老会	中央公民館	委員長・教育長
	12日	東部四町吹奏楽演奏会	中央公民館	教育長
	18日	町長と語るつどい	東小学校	教育長
	18日	物資選定委員会	給食センター	教育長
	26日	小学校運動会	甚目寺・西小学校	教育委員(地区)・教育長
	27日	健康福祉まつり	総合福祉会館	教育長
	27日	定例体育指導委員会	総合体育館	教育長
	27日	体育指導委員・地域スポーツ推進員合同会議	総合体育館	教育長
	29日	中学校文化祭	甚目寺・南中学校	教育委員(地区)・教育長
	30日	中学校体育祭	甚目寺・南中学校	教育委員(地区)・教育長

開催月	開催日	事業名	場所	出席委員
10月	1日	11月分献立委員会	給食センター	教育長
	9日	定例体育指導委員会	総合体育館	教育長
	13日	校長・教頭会	南中学校	教育長
	14日	家庭教育推進運営協議会	海部教育事務所	教育長
	14日	町長と語るつどい	西小学校	教育長
	15日	学校訪問	甚目寺小学校	教育委員(全員)
	15日	物資選定委員会	給食センター	教育長
	20日	海部地方教育事務協議会幹事会	海部教育事務所	教育長
	20日	海部地方教育事務協議会	海部教育事務所	教育長
	21日	社会福祉協議会理事会	総合福祉会館	教育長
	21日	社会福祉協議会評議員会	総合福祉会館	委員長・教育長
	23日	東部四町教育委員会連絡協議会	常滑市	教育委員(全員)
	26日	学校訪問	甚目寺中学校	教育委員(全員)
	28日	人権の花運動	西小学校	教育長
11月	3日	自治功労者表彰式	甚目寺町役場	教育長
	4日	虐待防止街頭啓発	町内	教育長
	5日	学校訪問	南小学校	教育委員(全員)
	6日	優良児童生徒表彰	甚目寺町役場	委員長・教育長
	6日	校長・教頭会	甚目寺小学校	教育長
	6日	12月分献立委員会	給食センター	教育長
	8日	ゴミゼロ運動セレモニー	甚目寺町役場	教育長
	8日	人権(同和)問題の講演会	中央公民館	教育委員(全員)
	10日	町長と語るつどい	甚目寺中学校	教育長
	13日	定例体育指導委員会	総合体育館	委員長・教育長
	16日	給食センター運営委員会	甚目寺中学校	委員長・教育長
	17日	物資選定委員会	給食センター	教育長
	18日	就学指導委員会	中央公民館	教育長
	24日	人事面談	中央公民館	委員長・教育長
	25日	海部地方教育事務協議会	海部教育事務所	委員長・教育長
	26日	人事面談	中央公民館	委員長・教育長
	27日	町長と語るつどい	南中学校	教育長
28日	海部地区家庭教育推進大会	大治町	教育長	

開催月	開催日	事業名	場所	出席委員
11月	29日	歩け歩け会出発式	総合体育館	教育長
	29日	人権ふれあい祭り	人権ふれあいセンター	教育長
12月	1日	1月分献立委員会	給食センター	教育長
	3日	町長と語るつどい	甚目寺小学校	教育長
	5日	市町村対抗駅伝大会	万博記念公園	委員長・教育長
	10日	校長・教頭会	西小学校	教育長
	18日	第1次人事面談	海部教育事務所	委員長・教育長
	18日	物資選定委員会	給食センター	教育長
	20日	飛島学園竣工式	飛島村	委員長・教育長
	24日	社会福祉協議会役員会	総合福祉会館	教育長
1月	4日	新年賀詞交歓会	甚目寺町役場	委員長・教育長
	8日	2月分献立委員会	給食センター	教育長
	10日	町消防団出初式	甚目寺中学校	教育長
	10日	ボーイスカウト初出式	中央公民館	委員長・教育長
	11日	成人の日記念式	中央公民館	教育委員(全員)
	12日	校長・教頭会	西小学校	教育長
	17日	創作劇「空白のカルテ」	中央公民館	教育委員(全員)
	18日	海部教育長会研修視察	静岡県	教育長
	21日	物資選定委員会	給食センター	教育長
	22日	定例体育指導委員会	総合体育館	教育長
	22日	体育指導委員・地域スポーツ推進員合同会議	総合体育館	教育長
	26日	文化財防火デー・甚目寺観音消防訓練	甚目寺観音	教育委員(全員)
	28日	校長・教頭会	東小学校	教育長
	29日	海部地方教育事務協議会幹事会	海部教育事務所	教育長
	29日	海部地方教育事務協議会	海部教育事務所	委員長・教育長
2月	2日	3月分献立委員会	給食センター	教育長
	8日	第2次人事面談	海部教育事務所	委員長・教育長
	10日	施設監査	西・東小学校・中央公民館	教育長
	12日	定例体育指導委員会	総合体育館	教育長
	16日	工事監査	甚目寺中学校	教育長
	16日	物資選定委員会	給食センター	教育長
	21日	町体育協会講演会	中央公民館	教育委員(全員)

開催月	開催日	事業名	場所	出席委員
2月	22日	給食センター運営委員会	甚目寺中学校	委員長・教育長
	24日	校長・教頭会	西小学校	教育長
3月	4日	4月分献立委員会	給食センター	教育長
	8日	中学校卒業式	各中学校	教育委員(全員)
	9日	第3次人事面談	海部教育事務所	委員長・教育長
	12日	定例体育指導委員会	総合体育館	教育長
	14日	ブロック対抗綱引き大会	総合体育館	教育長
	15日	海部地方教育事務協議会	海部教育事務所	教育長
	16日	物資選定委員会	給食センター	教育長
	19日	小学校卒業式	各小学校	教育委員(全員)

5. 主な事業の取組状況

(1) 学校教育課

■基礎学力の充実（教職補助員配置事業）

児童生徒の基礎学力の充実を目指しTT(チーム・ティーチング)を始めとする少人数指導による学習支援を行うため、小中学校へ町雇用の非常勤講師を配置しました。

また、障害のある児童に対する学校生活上の介助や学習活動上の支援等を充実させるため、小学校へ特別支援教育支援員を配置しました。

雇用人数 16人（教職補助員）、4人（特別支援教育支援員）

1週間当たり20時間未満 年間600時間／1人当り

※きめ細かい少人数指導が実施でき、それにより、個に応じた指導を進めることができました。また、TTの授業を行うことで基礎学力の充実に寄与しました。

■英語教育の推進（外国人英語補助員・小学校英語補助員配置事業）

児童生徒の英語指導及び英語活動補助等を行うため、町雇用の外国人非常勤講師を中学校に、また、小学校には英語補助員を配置し、次の内容を実施しました。

- (1) 中学校の英語科授業における英語指導
- (2) 小学校の英語活動における英語指導
- (3) 授業で使用する教材の作成
- (4) 職員会議への参加や教員に対する現職研修
- (5) 授業外の特別活動や課外活動など学校行事への参加
- (6) 研修やミーティングへの参加

小学校：英語補助員(日本人) 1人(年間600時間)

中学校：外国人講師《ポール デクレット(男) 国籍：アメリカ合衆国》

※中学校では、外国人講師とのTT授業を行い、生きた英語を学ぶ中で、生徒は積極的に会話を交わすことができるようになりました。また、英語教諭の研修に参加し、授業力向上に寄与しました。

小学校では新学習指導要領における準備期間として積極的に取り組むことができました。

■適応指導教室事業

心理的・情緒的な要因により、不登校の状態にある児童生徒を対象として、適正な相談・助言及び生活指導・学習指導を行い、自立及び学校生活への自発的復帰を支援しました。

専任指導員 1人 補助員 3人

平成21年度適応指導教室の登録者数 8人

※児童生徒に対し適正な指導等の実施及び臨床心理士の専門員により心理支援相談、また、保護者に対しても面接相談を実施したことにより、適応指導教室への成果がでてきました。今後は、さらに自立及び学校生活への自発的復帰ができるように努めていきます。

■人権教育(人権教育研究会)

甚目寺町小中学校人権教育研究会は平成21年度の研究主題を「人権尊重の確かな認識を培い、温かい人間関係を育む教育」として研究を進め、「自己実現を追求する活動を通して、人権尊重の教育」を推進しました。

・研究会の組織

会 長	東小学校長	幹 事	指導主事・東小学校・甚目寺中学校
副 会 長	西小学校長・南中学校長	推進委員	各小中学校教員 11人
庶 務	東小学校教頭	会 員	各小中学校教職員 全員

※児童生徒は、集団のなかでよりよい人間関係を築き、自己の存在感を感じ自己実現の達成に迫ることができました。

■小中学校施設整備事業

○東小学校改修及び増築工事(国庫負担金事業)

児童の増加に伴う教室不足を解消するため、既存の音楽室、家庭科室及び準備室を普通教室4室に転用し、新たに別棟に特別教室を増築しました。また、既存校舎の防火シャッター、避難救助関係、エレベーター等を改修し、安全・安心な教育環境を維持するための工事を実施しました。

- ・請負者名 株式会社河村産業所
- ・請負金額 金 231,000,000円

※教室の転用により教室不足が解消され、増築により学習環境が充実しました。また、危険か所を整備し安全・安心な学校になりました。

○甚目寺中学校大規模改修及び増築工事(安全・安心な学校づくり国庫交付金事業)
建設後38年あまり経過し老朽化による外壁の爆裂、モルタルの浮き、教室の床・階段シートの劣化、便所の悪臭などが生じて環境が悪くなっていることから、教育環境を良好にする工事を平成20年度(1期)と平成21年度(2期)の継続事業で実施しました。

- ・請負者名 株式会社河村産業所
- ・請負金額 金 479,850,000円
(内平成21年度分金 311,415,000円)

※外壁等の危険か所を整備し安全・安心な学校になりました。また、便所の悪臭も無くなり教育環境が向上しました。

○西小学校障害者対応トイレ等改修事業

西小学校では車椅子対応の便所がないため、児童、保護者及び来校者に大変不便がありましたので、全ての人ができるトイレに職員トイレを改修しました。

- ・請負者名 材寅産業株式会社
- ・請負金額 金 3,937,500円

※バリアフリー床及び洋式便器、手摺り等の改修により、安心できる学校環境ができました。

○校内LAN等整備事業(安全・安心な学校づくり国庫交付金事業)

全小中学校の普通教室及び一部の特別教室に情報化に対応するため、LAN等の配線を整備しました。

- 【小学校】 ・請負者名 千代田電子システム株式会社
- ・請負金額 金 23,667,000円
- 【中学校】 ・請負者名 藤田電機工業株式会社
- ・請負金額 金 12,619,950円

※各教室でパソコンによるインターネットの活用、また、デジタルテレビの視聴により、ICT化を図り、わかりやすい授業が実現できました。

○学校情報通信技術環境整備事業《ICT関連備品購入》

(学校情報通信技術環境整備事業国庫補助金)

- 2011年7月にアナログ放送からデジタル放送へ移行するに伴い、全小中学校に各校5台のテレビ(50インチプラズマ)を整備しました。

- ・請負者名 教育産業株式会社
- ・請負金額 金6,277,950円

- インターネットを使った授業の活用や文部科学省の補助教材としてデジタル教材が配布されていますので、全小中学校に各校1台の電子黒板(50インチプラズマ)を整備しました。

- ・請負者名 教育産業株式会社
- ・請負金額 金2,668,050円

- 各小中学校に配備したパソコン等の使用に必要なセンターネットワーク機器(各種サーバ、ディスプレイ等)が、老朽化に伴い交換が必要であるため整備をしました。

- ・請負者名 富士電機ITソリューション株式会社 中部事業本部
- ・請負金額 金18,585,000円

※児童生徒への高度情報化教育の育成の向上が図られ、安定した通信及び受信等ができました。

■学校教育事業

○あいち・出会いと体験の道場推進事業(事業費 200,000円)

愛知県の委託事業として、大人へと心身ともに大きく成長する中学生時代に、社会の成り立ちについての理解や、働くことの意義、責任感、あいさつ、言葉づかいの大切さなど、社会性をしっかりと身につけてもらうため実施しました。

県委託金 200,000円

・南中学校

参加生徒数 2年生 177人

実施日 11月9～11日

受入事業所 37事業所

(甚目寺中学校は、インフルエンザ流行による学級閉鎖等から事業を中止しました。)

※自立心と社会性が身につく、社会のマナーやルール、あいさつや言葉づかいの大切さなど社会性を学び、考えることができました。

○理科支援員等配置事業（事業費 800,000円）

愛知県の委託事業として、支援員や特別講師を配置し、教員が協力して授業を行うことにより、理科の授業の充実・活性化を図るとともに、教員の観察・実験等体験的学習に関する指導力向上を図りました。

県委託金 800,000円

- ・指定校：南小学校
- ・実施学年：5・6年生
- ・特別講師：大学教員「わたしの研究」発展学習
企業退職者「生き物のくらしと環境」
- ・支援員：大学生 5人

※実験の準備や予備実験、教材研究などが十分にでき、児童の不安や分からないところを素早く支援できたことで高学年の授業がより充実しました。

○地域とはぐくむモラル向上事業（事業費 1,200,000円）

町の単独事業として、児童生徒に「生きる力」の核となる豊かな人間性と社会性を培うために、学校・家庭・地域の三者が心を一つにして、規範意識を中心とした道徳の授業の工夫や体験活動の推進に取り組むとともに、児童生徒の自分を高めようとする気持ちを醸成し、もって道徳教育の一層の充実・推進を図ることを目的として、町内の全小中学校で実施しました。

※自分の在り方を考え、相手の気持ちを理解し、思いやる心の大切さを学ぶことができました。今後も学校・家庭・地域が連携してよりよく生きようとする子を育成していきます。

○授業力向上支援事業（事業費 300,000円）

町の単独事業として、町内全小中学校において、各教科における育みたい資質や能力を客観的に見取るための評価方法を研究し、授業力の向上を図りました。

また、新学習指導要領に向けて指導計画や評価基準の研究をし、新学習指導要領に対応するための指導力を培うことをねらいとして研修等を実施しました。

※研究・研修により、教員としての意欲・指導力が増し、授業や児童生徒指導も向上しました。

■学校給食事業

○親子料理教室・家庭教育学級の開催

昨年度から取り組んだ「親子料理教室」では、子どもたちに料理を作る楽しさ、朝食の大切さを知ってもらうことを目的として開催しました。

また、保護者には、試食会、家庭教育学級において料理講習を実施しました。中学校保護者には、「家庭教育学級」の中で、毎年継続している「朝ごはん」を食べる習慣につながり、食の関心が高まっていました。

期 日	平成 21 年 12 月 24 日 (木)
会 場	人権ふれあいセンター 2 階栄養指導室・教養室
対 象	小学校の児童と保護者
参加人数	7 組 14 人

※バランスの良い朝ごはんについて考え、毎日「朝ごはん」を食べる意欲につなげることができました。

また、親子で料理を作る楽しさを学び、食事の大切さを改めて感じるよい機会となりました。

○食に関する指導の実施

栄養教諭・学校栄養職員が町内 4 小学校の全学年の児童を対象とした、食に関する指導を給食時間に学級へ訪問して行いました。

1・2 年生には野菜を進んで食べることができるように、3～6 年生には望ましい朝食を毎日食べる意欲を持つことができるように、朝食の役割・大切さ・組み合わせについての指導を学年に応じて実施し、児童への食育に努めました。

※今年度は 5 年生の学級活動授業で「しっかり食べよう！朝ごはん」の主題で栄養バランスを理解し望ましい食事内容になる朝食を考え、生涯にわたって自ら健康管理ができ、野菜に興味・関心を持ち、苦手な野菜を進んで食べるという意欲がわきました。

また、朝食指導では、朝ごはんをきちんと食べるという意識をもつことができました。5 年生では休日に家庭の朝ごはん作りに挑戦することができました。

○学校給食センターの活動状況

開 催 日	行 事 名
平成 21 年 4 月 8 日	平成 21 年 5 月分献立委員会
4 月 16 日	平成 21 年 5 月分物資選定委員会
4 月 30 日	平成 21 年 6 月分献立委員会
5 月 20 日	平成 21 年 6 月分物資選定委員会
6 月 2 日	平成 21 年 7 月分献立委員会

6月17日	平成21年7月分物資選定委員会
7月 2日	給食センター運営委員会
7月 1日	平成21年8月分献立委員会
7月16日	平成21年8月分物資選定委員会
7月29日	平成21年9月分献立委員会
8月 5日	平成21年9月分物資選定委員会
9月 3日	平成21年10月分献立委員会
9月18日	平成21年10月分物資選定委員会
10月 1日	平成21年11月分献立委員会
10月15日	平成21年11月分物資選定委員会
11月 6日	平成21年12月分献立委員会
11月17日	平成21年12月分物資選定委員会
11月16日	給食センター運営委員会
12月 1日	平成22年1月分献立委員会
12月18日	平成22年1月分物資選定委員会
平成22年 1月 8日	平成22年2月分献立委員会
1月21日	平成22年2月分物資選定委員会
2月 2日	平成22年3月分献立委員会
2月16日	平成22年3月分物資選定委員会
2月22日	給食センター運営委員会
3月 4日	平成22年4月分献立委員会
3月16日	平成22年4月分物資選定委員会

(2) 生涯学習課

■文化振興事業（町民文化祭）… 町文化協会と共催

甚目寺町町民文化祭は、町民及び文化・芸能団体に発表の機会を提供するとともに、文化・芸能に係る資質の向上を促し、町民のより豊かな生活の実現に資するため開催しました。

	大会名	開催日	参加団体 件数			場所
			文化協会	一般公募	計	
芸能発表部門	吟剣詩舞大会	6月28日(日)午後1時00分開演	7	0	7	大ホール
	音楽祭	9月6日(日)午後1時00分開演	14	3	17	
	芸能祭	10月18日(日)午後0時30分開演	17	5	22	
作品展示部門	あなたの作品展Ⅰ	6月26日(金)～28日(日)3日間	7	4	11	ロビー
	あなたの作品展Ⅱ	9月4日(金)～6日(日)3日間	8	2	10	
	あなたの作品展Ⅲ	10月16日(金)～18日(日)3日間	7	1	8	
	秋の大作品展	10月31日(土)・11月1日(日)2日間	23	34	57	

※年間に渡って実施することにより、参加者にとっては発表の場を、来場者にとっては文化活動に触れる機会を、より多く提供できたことは文化振興の一助となりました。

■成人式事業

「おとなになったことを自覚し、みずから生きぬこうとする青年を祝い励ます」の趣旨のもと、町、教育委員会の共催により実施しました。

- ・平成22年1月11日(月・祝)＜第二月曜日＞
時間・場所：9時45分～11時30分 中央公民館 大ホール
- ・行事の内容：思い出のスライド、式典、記念撮影、
恩師からのメッセージ・お楽しみ抽選会
- ・記念品：生活マナー小事典
- ・新成人(平成元年4月2日～平成2年4月1日生れ)＜参加率 71%＞
- ・町内の対象者 359人(男性171人、女性188人)
- ・町外参加希望者 36人(男性16人、女性20人)
- ・参加者(町外参加希望者を含む) 310人(男性148人、女性162人)

※新成人による実行委員会方式を採用することで、「自分たちの」、「自分たちによる」「自分たちのための」成人式を実施することができ、感動的な式典となりました。

■家庭教育推進事業

都市化、核家族化が進み、母親達が身近な子育てモデルもなく育児不安やストレスを抱えています。幼児期家庭教育講座を開催し、母親のリフレッシュをはかるとともに、子育てについての知識を広げ、よりよい子育て・育児等になるように実施しました。

- 妊娠期家庭教育講座 … マタニティースクール教育編として実施
(対象/妊産婦 時間/9時30分～11時30分) 受講者90人
①5/15(金) ②7/17(金) ③9/18(金) ④11/20(金) ⑤1/15(金) ⑥3/19(金)
講師(胎教)：音楽指導員 渡邊葉美氏
講師(講義)：名古屋芸術大学短期大学部保育科名誉教授 小沢志江子氏
テーマ：「はじめて出会う我が児への期待」
- 乳幼児期家庭教育講座
・すこやか子育て講座～リフレッシュしてより良い子育てを～(前期 全5回)

(対象／親子 時間／10時～正午) 受講者 延べ37人
①6/17(水) ②6/24(水) ③7/1(水) ④7/8(水) ⑤7/15(水)

講師：NPO法人ママ・ぷらす

- ・すこやか子育て講座1・Ⅱ～パパの子育て入門～

(後期 全1回) (対象／親子 時間／10時～11時30分)

①11/22(日)

受講者 延べ12組24人

講師Ⅰ：ベビーマッサージセラピスト 石黒亜也子氏

講師Ⅱ：幼児体操指導員 杉山美鈴氏

○家庭教育学級

急速な社会情勢の変化により、子どもたちを取り巻く家庭環境は大きく変化しつつあり、家庭教育のあり方が重要課題となっています。各小中学校において家庭教育学級を開催し、小中学校PTA関係者が一堂に会し、共に家庭教育について考える機会を提供しました。

(学校委託) 20回 (各小学校：年3回×4校、各中学校：年4回×2校)

○「子育てサロン」 30回 (毎月3回×10ヶ月) 11時～14時

参加者 延べ678人

公民館談話室に、「子育て支援情報を提供できるスペース」「飲食ができるスペース」「子どもを遊ばせることができるスペース」をつくり、子どもや保護者たちが集える場を提供しました。

※参加者が子育ての知識を得ることは勿論、親同士のつながりをもつことができ、今後の子育ての問題解決の糸口となりました。

■青少年健全育成事業

青少年が心身ともにたくましく成長することを願って町民総ぐるみの事業を実施しました。

- ・交通安全・防犯・青少年健全育成町民総決起大会

平成21年5月28日(木) 14時～ 中央公民館 大ホール

- ・街頭啓発活動 1回

平成21年8月16日(日) [夏祭り会場：甚目寺中学校にて] 午後6時から

※大人として青少年の健全育成のためにどのような事ができるかを考える契機となりました。

■人権教育推進事業

海部地区人権教育講演会(共催：甚目寺町小中学校人権教育研究会)

人権問題に係る正しい認識と理解を深めていただくため、他市町の方にも参加を呼びかけ、実施しました。

- ・平成21年8月7日(金) 14時～ 中央公民館 1F 大ホール

講師：作家・翻訳家 池田香代子さん

演題：「100人の村、あなたもここに生きています」

参加者：約330人(対象／町内小中学校教職員、PTA関係者、海部地区小中学校教職員、青少年健全育成推進連絡協議会委員 他)

※講演を通じて、多くの方に人権に対する理解が得られました。

■文化財保護啓発事業

町民一人一人が、文化財への理解と保護意識の普及と向上を目指すとともに各種事業を実施しました。

- 文化財講座 … 郷土の歴史・文化財全般に関すること

平成21年8月28日～11月13日（5回） 受講者 延べ123人
（講師は甚目寺町郷土史研究会役員と生涯学習課文化財担当職員）

（対象／一般 時間／午後1時30分～3時 中央公民館 3F 視聴覚室）

①8/28(金) 演題「平安時代の仏教美術」 講師：野村 昌弘

②9/15(火) 演題「法華経を読む」 講師：渡辺 英岳氏

③9/25(金) 演題「熱田神宮へ「藪ニ香ノ物」を献る萱津の伝統行事」

講師：青木 節夫氏

④10/15(木) 演題「古事記の序」 講師：甚目憲一郎氏

⑤11/21(金) 演題「梵字の基礎知識～切継の実践」 講師：坂野 元昭氏

○資料館講座 … 歴史民俗資料館で実施する講座

「夏休み歴史教室」 対象/小4～小6 平成21年8月6日(木) 受講者3人

「親子しめ縄教室」 対象/親子 平成21年12月12日(土) 受講者8組18人

講師：竹田 武夫氏

「古文書を読む」(全20回) 対象/一般 受講者13人

講師：藤井 智鶴氏

○企画展（歴史民俗資料館）

「萱津神社 香物祭」 期間：平成22年2月18日(木)～3月9日(火)

観覧者数266人

○刊行物

「資料館だよりNo.12」の作成（500部 平成22年2月発行）

○第56回文化財防火デー・甚目寺観音消防訓練

平成22年1月26日(火) 10時～11時

参加者：海部東部消防署22人、町消防団7人、甚目寺観音自衛団10人、その他（見学：甚目寺小学校四年生126人）

※歴史・文化・伝統の学習の場を設けることにより郷土への理解と郷土愛を育む契機となりました。また、消防訓練の実施により文化財保護意識の高揚の一助となりました。

■放課後子ども教室事業

小学校の施設を利用し、地域の大人の参画を得て、子供たちが安心して活動できる安全な居場所を提供することにより、子供たちの健全な育成を図るよう実施しました。

実施会場	甚目寺南小学校
実施	平成21年4月8日から実施（実施日数 194日）
時間	授業終了から17時まで
対象	南小学校へ通学する児童（登録参加制）
登録者数	69名(述べ参加者数 2, 226人)
実施会場	甚目寺小学校
実施	平成21年9月1日から実施（実施日数 125日）
時間	授業終了から17時まで
対象	甚目寺小学校へ通学する児童（登録参加制）
登録者数	44名(述べ参加者数 1, 598人)

※放課後の児童の安全な居場所を確保することができ、様々な活動をとおして青少年健全育成に寄与しました。

■公民館事業

住民の学習ニーズにあった学習の場を提供し、個人や地域の問題解決のきっかけ作りとしました。

○公民館事業

下記のとおり各種講座等を開催し、多くの参加を得ました。

講座名	対象	回数	受付者数		延受講者数		講師等
子ども理科教室	児童	2回		10人		20人	額額 満
ファッションカラーコーディネート講座	女性	5回		7人		30人	池田陽子
スキンケア&美眉メイク	女性	5回		18人		73人	都築 葵
バランスのとれた日本型食生活	女性	3回		15人		42人	加藤菊枝
卵も牛乳も白砂糖も使わないお菓子	女性	3回		20人		50人	山内三津子
説教源氏節人形芝居	一般	8回		11人		79人	木村 繁
健康生活のすすめ	女性	3回		20人		50人	鈴木正之 他
歌謡詩舞教室	女性	10回		11人		64人	蟹江功容
ハワイアンキルト教室	一般	5回		18人		84人	伊藤由香
ゆかた着付け教室	女性	1回		15人		14人	きつけ京の会
家庭で出来る季節の料理 洋 和 華	女性	3回		14人		38人	加藤菊枝
雑穀・野菜・豆腐を使ったお菓子	女性	3回		21人		51人	山内三津子
親子で和菓子作り	親子	5回	6組	14人	6組	22人	新家みどり
干支の人形作り	一般	3回		25人		68人	(株) 石塚人形
木彫講座	一般	10回		6人		45人	黒炭 壮
きもの着付けとマナー	女性	5回		17人		57人	きつけ京の会
パソコン入門	一般	6回		22人		66人	(有) アクセス
エクセル入門	一般	3回		18人		108人	(有) アクセス

」

○公演・イベント・図書室事業

下記のとおり親子対象の事業を実施し、親子の触れ合いの場を提供しました。

事業名	事業内容	開催日時	会場	入場者 受講者
土曜おやこ映画会	アニメ映画 「ウォーリー・E」	平成21年5月30日(土) 10:30～	大ホール	約600人
手作り おもちゃ教室	全2回 講師：小島行雄 牛乳パック等でおも ちゃを作成し、親子 で遊ぶ。	平成21年10月24日(土) 11月21日(土) 13:30～	研修室	受講者数 2回合計 6組10人
おやこ人形劇 観劇会	人形劇団 「むすび座」公演	平成22年2月13日(土) 11:00～	講義室	約100人
図書事業	読みきかせ	毎週土曜日(第2除く) 14:30～ 39回/年	図書室	229人
	紙しばい	第2土曜日 14:30～ 12回/年	図書室	78人
	ブックスタート	3ヶ月健診時 12回/年	総合福祉会館	470人
	ブックシェア	妊娠期家庭教育講座開催時 6回/年	総合福祉会館	90人
	パソコンでオリジ ナル絵本	平成22年1月8日(金) 10:00～ 1月15日(金) 1月22日(金)	児童室	17人

○パソコン相談室

パソコン講習のフォローアップ及びパソコンに関する質問への回答など、パソコンをより身近な道具として、操作に慣れていただくよう実施しました。

実施回数	24回
五条高等学校パソコン部委託分	12回
町民ボランティア委託分	12回

※講座を通じて、自分の趣味の充実を図り、仲間作りができました。また親子対象の事業では、親子で参加することで、親子のふれあいを深めることができました。

■人権教育推進のための調査研究事業（文部科学省・愛知県委）

創作劇「空白のカルテ」	入場者数 約600人
平成22年1月17日(日) 14時～15時	中央公民館大ホール

※創作劇を通じて、多くの方に人権に対する理解が得られました。

■スポーツ教室

スポーツを通じて、親子の絆をより一層深めるために事業を実施しました。

○親子体操教室（3教室）

場 所 総合体育館

開催日 平成21年5月12日から平成22年3月2日までの火曜日
15回実施

参加者 73組148名

※幼児・児童の発達に適した運動の体験及び親子で一緒に運動することにより親子の絆を深めることができました。

○ふれあいスポーツ教室（2教室）

場 所 総合体育館

開催日 平成21年10月8日から平成22年11月26日までの木曜日
8回×2教室実施

参加者 30名

※学童の成長や発達過程から「動作の習熟」を重点に身体を動かす楽しさを感じることができました。

○トータルフィットネス

場 所 総合体育館

開催日 平成21年9月3日から平成22年10月22日までの木曜日
8回実施

参加者 11名

※参加者自らの健康・体力の増進を図ることができました。

○健康・体力づくり教室

場 所 総合体育館

開催日 平成21年5月9日から平成22年6月27日までの土曜日
8回

参加者 11名

※トレーニング器具を利用して参加者の健康・体力づくりができました。

■スポーツ行事・大会

日頃の運動不足を解消するために事業を実施しました。

○歩け歩け会

場 所 (秋) 中山道馬籠峠越えコース

開催日 (秋) 平成21年11月29日(日)

参加者 (秋) 47名

※自然の中、多くの人と歩くことにより、体力づくりや親睦の和を広げることができました。

○ブロック対抗綱引き競技大会

場 所 総合体育館

開催日 平成22年3月14日

参加者 400名

※一本の綱を引くことにより、地域住民の団結と和を図ることができました。

○町民体育祭

場 所 甚目寺中学校 運動場

開催日 平成21年10月4日(新型インフルエンザのため中止。)

○体育協会委託事業

年間を通じてゲートボール大会を始め15種目119チーム、1,438名の参加がありました。

○愛知万博駅伝

60市町村の参加により平成21年12月5日第4回駅伝大会が開催され町村の部において12位(前回16位)でした。

また、各市町村の交流を図ることができました。

■社会教育施設設備事業

○甚目寺中央公民館改修工事

開館以来25年が経過し、屋上防水シート等の劣化による雨漏り防止のための工事(本館側を除く。)等を実施し、施設の向上に努めました。

事 業 内 容 既存アスファルト防水撤去始め

事 業 費 32,896,500円

※この修繕工事を実施したことにより、利用者の利便性の向上に寄与し、雨漏り状

態の改善ができました。

○総合体育館トレーニング機器更新事業

開館以来トレーニング室機器の更新及び高齢者に対する機器がないため、利用者からの要望により整備をしたものです。なお、平成19年度から2年間で機器を更新することにより、利便性の向上に努めました。

事業内容	ラポート LX 始め 17 台他
総事業費	21 年度契約 9, 513, 000 円
	〔19 年度契約分 8, 410, 500 円〕
	〔20 年度契約分 9, 166, 500 円〕

※機器を導入したことにより、高齢者を始めトレーニング室を使用する方の向上に努めた決果、対前年度 37.7% 1, 911 名の利用者の増加となりました。

6. 学識経験者による意見

学識経験者名	吉川朝博（甚目寺小学校学校評議員・人権擁護委員）
<p>21年度も、町民の信託に応えるべく、各種事業に多大な成果を示していただき、大変ご苦労さまです。子細に亘っての着実な前進は、人づくりは国づくりを標榜する教育委員会の責務として、何よりの責務遂行事実として、望ましい甚目寺町実現に向け、喜ばしい限りです。しかしながら、3町が合併し、新市「あま市」になった今、果してその歩みは、新市構築に向け、有効適切なものであったか。今回の点検・評価には、そんな観点が必要であるように思われる。町としての独自性を尊重しつつも、改革と拡大、統合と止揚の観点こそ、理想の新市実現に向け、着実な助走テンポと言えるのではないであろうか。</p>	
<p>その観点から、今次点検・評価にあたり、次の3点を大きな視点として考察を試みることにした。1点目は、今日的課題に的確に応える事業展開になっているか。2点目は、地域の実情と要望に応える事業推進になっているか。3点目は、地域の将来を見据えた事業実践になっているか。</p>	
<p>1点目については、新市への歩みに限らず、常に問われる課題であるが、確実に事業実践を継続する意味で点検したい事項と思う。新学習指導要領実施に向けての体制づくり、増加するいじめ、児童虐待への対応、少子高齢化に向けた抜本的対策等、喫緊の課題は多い、本町では、英語学習の導入、授業力向上に向けた講師を迎えての共同研究、電子黒板の導入や校内LANの整備、少人数指導や特別支援教育の充実に向けた町費での教職補助員や支援員の配置など、多様な事業が的確に計画され実践されている。また、いじめ・児童虐待等に向けては、これまでの実践に加え、適応指導教室が開設され、心の悩み解決に一層の前進が感じられる。なお、人権意識の低下が叫ばれる昨今、本町では取り立てての人権教育の推進は特筆に値する実践である。高齢化する中、敬老の心も養われていると考える。こうした万全の取り組みに安堵するが、本報告に具体的な評価検証の事実が明記されていないの</p>	

が残念である。この点の工夫を望むものである。

2点目の地域の実情や要望への対応については、愛町心から町民の町づくりへの歩みは始まるという点で合併を成功させる重要な事業内容といえる。この点では、住民のニーズにあった事業展開が最も望まれるところだが、それと同時に住民におらが町意識を強く起こさせる事業体験が刺激的である。ハンセン病患者を救った小笠原登博士の手作りの「空白のカルテ」の上演は画期的であったと確信している。この行動力と協働の心がある限り合併は安泰であると言える。しかし、全体的には、この種の事業展開はか細い。

3点目の将来性についても、常に問われる観点であるが、合併に当たって進めてきた事業が雲散霧消してしまうのではなく、それを機にその事業が共存共栄の道を求めて発展する事業展開こそ望ましい合併の姿と考えるので、検討しておきたい観点である。その点では、どの事業も将来性を含む事業展開といえるが、特に力強い将来性を感じるのは、本町独自が長年に亘って進めてきた人権講演会をはじめとした町民総意の事業である。この点を真摯に勘案し、今後は、真に市民の信託と期待に応えられる事業展開を構築していただきたい。

新市のキャッチコピーは「人・歴史・自然が綾なすセーフティ共創都市“あま”」である。市民が主役となって、これまで育まれた歴史と豊かな自然を存分に生かす事業を力強く展開することが、今早急に望まれている。教育委員会の総力を結集して、今こそ夢や希望が実現する時と捉えてご尽力いただけるよう強く願っている。